

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	坂本 真士	所属	日本大学文理学部
研究会等名称	Depression 研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員 14 名（うち認定心理士 2名） 非会員 38 名（うち認定心理士 0名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>実施内容 本研究会では、研究会メンバによる研究成果を一般に広く公開するため、2019年3月2日（土）に、日本大学文理学部にて公開シンポジウム「『新型うつ』研究の最前線(2) —研究と実践の対話のために—」を実施した。実施内容については、本シンポジウムを周知するために用いたポスターを添付したのでご覧いただきたい。シンポジウム開催の周知は、このほかにも、メンバが参加する各種学会のメーリングリストなどによって行った。</p> <p>成果 当日は52名の参加者が来場し、職種も、大学教員・研究者から、企業におけるメンタルヘルス担当者・保健師・臨床心理士、さらには大学院生・学生まで多岐にわたった。前半のセッションにおいて、Depression 研究会における研究成果について広く情報提供でき、指定討論者から貴重な意見をいただいた。後半のセッションでは、フロアを7つのグループにわけ、各グループにシンポジストが入って話し合いをすることにより、フロアとシンポジストとの間で有意義な情報交換ができた。なお、シンポジウム開催前および当日の両方において、参加(予定)者からの質問を受け付けた。回答できるものについて、当日に口頭にて回答したほか、後日、Q&amp;Aの形でフィードバックした。 本シンポジウムはあえて学会大会の外で実施したが、これは学会シンポジウムの時間枠を超えて実施すること、実践家と研究者をつなぐ場としたいことが主な理由である。本シンポジウムはこの2つの目的を達したものと言える。</p> <p>将来計画 本シンポジウムは研究会制度による助成を受けなかった昨年度も含め2度実施している。次年度も同様の企画で実施したい。3月は科研費他の研究費が執行できないため、研究会制度により助成金は大変役に立った。次年度も申請させていただきたく考えている。</p>		

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
Depression研究会				
研究集会開催日： 2019年 3 月 2 日(土)				
	氏名	所属	会員	認定心理
1	はんだ あきこ	明治学院大学 健康支援センター		
2	もり あやか	Panasonic健康保険組合		
3	すがわらみさき	神奈川工科大		
4	篠田昌恵	独立行政法人都市再生機構		
5	吉川春菜	ひゅーまにあ新横浜		
6	小川 佳代子	女子美術大学		
7	江口理沙	武蔵大学		
8	嶋田 清美	専門学校 東京国際ビジネスカレッジ		
9	三輪峻己	University of Essex MA in Psychoanalytic Studies		
10	柿本敏克	群馬大学		
11	古川佳奈	(株)国際文献社		
12	神原広平	広島大学大学院 教育学研究科		
13	石井香織	飯森クリニック		
14	小澤 公良	日本橋メンタルクリニック		
15	小杉さつき	セイコーエプソン株式会社		
16	矢野 康介	立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科		
17	岩沢めぐみ	ANAエアポートサービス(株)		
18	西尾美和子	武蔵大学学生相談室		
19	吉田 美咲	トッパン健康保険組合		
20	小松 周平	静岡大学人文社会科学研究所臨床人間科学専攻		
21	堂田 政志	NECマネジメントパートナー		
22	芳賀道匡	日本大学文理学部	○	
23	恩田 美喜子	館林市役所		
24	荻田 桃代	生活協同組合ユーコープ		
25	村上彰啓	りんどうの会		

	氏名	所属	会員	認定 心理
26	西村紀彦	個人		
27	大塚泰正	筑波大学	○	
28	吉田聖菜	株式会社チャレンジドジャパン		
29	橋本 尚子	大阪産業大学		
30	宮澤 史穂	障害者職業総合センター	○	
31	白川真裕	日本大学	○	
32	曾我翔太	誠信書房		
33	園田明人	静岡県立大学	○	
34	伊藤 毅	NECマネジメントパートナー		
35	熊崎 崇洋	NECマネジメントパートナー		
36	たんじちひろ	千葉リハビリテーションセンター		
37	わたの ゆりみ	九州電力株式会社		
38	富張佑介	ひゅーまにあ		
39	寺澤早苗	川崎信用金庫		
40	杉山崇	神奈川大学	○	
41	塚原拓馬	実践女子大学	○	○
42	松浦隆信	日本大学文理学部	○	
43	勝谷紀子	日本大学文理学部	○	○
44	亀山晶子	日本大学文理学部	○	
45	山川樹	日本大学文理学部	○	
46	佐久浩子	日本大学文理学部		
47	鈴木雄大	日本大学大学院文学研究科		
48	Wijesinghe Ridney	日本大学大学院文学研究科		
49	山内菜海	日本大学大学院文学研究科	○	
50	福田大	日本大学文理学部（卒業生）		
51	村中昌紀	静岡福祉大学	○	
52	坂本真士	日本大学文理学部	○	

(様式5)

2019年 3月27日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 Depression研究会

研究会番号 研18011

助成金額 ¥40,000

年月日	項目	金額
2019年2月27日	配付資料の印刷用紙(領収書1)	¥1,866
2019年3月8日	配付資料、印刷(領収書2)	¥10,800
2019年3月9日	UDトーク使用料(領収書3)	¥2,800
2019年3月2日	講師交通費(2名)(領収書4,5)	¥4,000
2019年3月2日	アルバイト謝金(会場整理)(領収書6,7)	¥7,200
2019年3月8日	アルバイト謝金(会場整理)(領収書8)	¥4,500
2019年3月9日	アルバイト謝金(会場整理)(領収書9)	¥4,500
2019年3月14日	アルバイト謝金(会場整理)(領収書10)	¥4,500
	支出合計	¥40,166

超過分は自己負担とします。